

学校図書館支援センター通信 157号

令和3年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

第2回学校図書館研修会

学校図書館ガイドラインを踏まえた学校図書館運営について ～GIGA スクール時代の教育実践を支えるために～

7月27日（火）、帝京大学 教授 鎌田和宏先生を講師にお招きして、第2回学校図書館研修会を行いました。今年度の夏季の研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、オンライン研修会での実施となりました。

2018年に実施された国際学習到達度調査（PISA）の読解力の問題を実際に解きながら、「GIGA スクール構想の展開がめざす学力」について考えていきました。PISA の読解力の問題は、「情報を探し出す」「理解する」「評価し、熟考する」能力の定着を確認する内容となっています。その中でも、「情報を探し出す」「評価し、熟考する」問題の正答率が低い結果が出ています。また、自由記述形式の問題では、根拠を示しながら自分の考えを説明することに課題がみられました。これらのことから、今後めざす学力は、「汎用的な資質・能力」であり、理論的に考えたり、自分の考えをわかりやすく表現したりする力の育成が求められます。

そのためには、ICT を含む様々なツールを駆使して、各教科等の中で「子供が調べ、考え、表現する」探究的な学びを取り入れていく必要があります。そして、子供たちが扱う「情報」は、教育情報に関する専門性を備えた司書教諭、学校司書、教諭が情報源を吟味し提供する必要があります。また、情報教育担当者と学校図書館担当者同士が連携・協働することが大切であり、より質の高い教育へとつながります。

研修会の終わりに、「鍵はデジタルとアナログの柔軟な往還です！」というお話がありました。これからは、デジタルとアナログのバランスを図りながら、情報活用能力育成に向けた授業づくりを目指していく必要があります。研修会の中で、昨年度、市川市教育センターが作成した「学校図書館の機能を活かした情報活用能力育成に向けた学び方体系表（右図）」を紹介いただきました。「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ（発表・交流）」の流れの中で、学校図書館とICTの活用がどのように関わっているか、発達段階に合わせたつきたい力を体系的にわかるように作成しましたので、ご活用いただければと思います。

学校図書館の機能を活かした情報活用能力育成に向けた学び方体系表

学校図書館の機能を活かした情報活用能力育成に向けた学び方体系表		令和3年度 教育センター	
学習領域	学習内容	学校図書館の機能	学び方
		学校図書館の機能	学び方
基礎・基本	読書の楽しさを知り、読書習慣を身に付ける。	読書の楽しさを知り、読書習慣を身に付ける。	読書の楽しさを知り、読書習慣を身に付ける。
	読書の楽しさを知り、読書習慣を身に付ける。	読書の楽しさを知り、読書習慣を身に付ける。	読書の楽しさを知り、読書習慣を身に付ける。
	読書の楽しさを知り、読書習慣を身に付ける。	読書の楽しさを知り、読書習慣を身に付ける。	読書の楽しさを知り、読書習慣を身に付ける。
	読書の楽しさを知り、読書習慣を身に付ける。	読書の楽しさを知り、読書習慣を身に付ける。	読書の楽しさを知り、読書習慣を身に付ける。
情報活用能力	情報の探し出し、理解、評価、熟考。	情報の探し出し、理解、評価、熟考。	情報の探し出し、理解、評価、熟考。
	情報の探し出し、理解、評価、熟考。	情報の探し出し、理解、評価、熟考。	情報の探し出し、理解、評価、熟考。
	情報の探し出し、理解、評価、熟考。	情報の探し出し、理解、評価、熟考。	情報の探し出し、理解、評価、熟考。
	情報の探し出し、理解、評価、熟考。	情報の探し出し、理解、評価、熟考。	情報の探し出し、理解、評価、熟考。
ICTの活用	デジタル教材の活用。	デジタル教材の活用。	デジタル教材の活用。
	デジタル教材の活用。	デジタル教材の活用。	デジタル教材の活用。
	デジタル教材の活用。	デジタル教材の活用。	デジタル教材の活用。
	デジタル教材の活用。	デジタル教材の活用。	デジタル教材の活用。

「学校図書館活用授業時数調査（前期分）」ご提出のお礼

今年度も司書教諭の先生方へご協力をお願いしていた「学校図書館活用授業時数調査」前期分（4月～9月）のご提出ありがとうございました。ご提出いただいた「学校図書館活用授業時数調査」は、教育センターで集計を行い、市川市の現状を把握するための資料とするとともに、各学校の後期の学校図書館活用の計画に役立てるための資料としてご活用いただければと思います。



司書教諭合同研修会

情報リテラシー教育の推進について

8月24日（火）、放送大学 客員准教授 塩谷京子先生を講師にお招きして、司書教諭及び教職経験4年目教員を対象とした「司書教諭合同研修会」を行いました。

研修会の冒頭で、学校図書館の3つの機能（※）と学校司書、司書教諭、教諭のそれぞれの役割についての話がありました。学校司書は学校図書館の3つの機能を整備する人、司書教諭は学校図書館活用を提案する人、そして授業に携わる教員は学校図書館の機能を活用する人であるという説明がありました。

学習指導要領の総則では、「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」は、学習の基盤となる資質・能力であると記載されています。また、国語科の学習指導要領「知識及び技能」の中には、情報と情報の関係についての記述があり、小・中学校9年間を通して体系的に学ぶように目標が示されています。学校図書館の「学習センター」「情報センター」機能を活用することで、情報を活用するスキルが身につくというお話がありました。情報活用能力を育成するためには、学びを積み重ねていくことが大切です。児童生徒の発達段階に合わせた、学校図書館の効果的な活用を念頭に置きながら、単元を構成することが必要となります。

具体的な活用例として、収集した情報を整理・分析する際に、思考ツールが活用できることを教えていただきました。

※ 学校図書館の3つの機能

- ☆読書センター機能・読書活動の推進及び読む力の育成
- ☆学習センター機能・授業のねらいに沿った図書館資料の活用
- ☆情報センター機能・情報活用能力の効果的な育成

「司書教諭合同研修会」塩谷先生作成資料より

※思考ツールとは、思考を広げたり、整理したり、深めたりするための手法のことです。例）マッピング、ピラミッドチャート等



【青空文庫リーダー・ライトのご案内】

9月に配付された教員用、児童生徒用それぞれのタブレットに「青空文庫リーダー・ライト」のアプリケーションをインストールできるようになりました。アプリストア（Microsoft store）からインストールすることができます。インストール後、アプリケーションを起動してください。「青空文庫リーダー・ライト」は、著作権が切れた作品を読むことができます。作品の内容は、高学年から中学生向きになっています。インストールは、それぞれのタブレットで行う必要があります。興味のある先生は、まず教員用のタブレットにインストールをして確認してみてください。実際に先生方に読んでいただき、ご活用できるようでしたら、必要に応じて児童生徒へ紹介していただければと思います。

インストール方法 Microsoft store ⇒ 「青空文庫リーダー・ライト」⇒ インストール ⇒ 起動

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市曳高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

